

憲法改悪を許さない全国署名

各地でこんな取り組みが ③⑧

2022年2月25日

9条改憲NO! 全国市民アクション 連絡先 メール [info@kaikunno.com](mailto:info@kaikunno.com) ☎03-3221-4668

**憲法を変えてる場合じゃない！  
コロナ、中国・ロシアの暴挙・暴論を口実に  
した改憲策動とんでもない！！**

**「憲法改悪を許さない全国署名」進め  
憲法審査会を、国会を、改憲勢力を包  
囲しよう！**

**ロシアのウクライナ侵略—国際社会は許さ  
ない！時代遅れの蛮行糾弾、ロシアは軍事  
行動を直ちに中止し、撤退せよ！**

### 各地の取り組みから

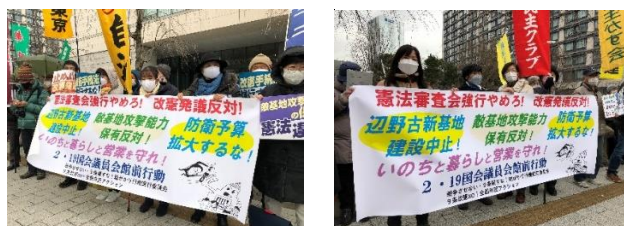
東京 総がかり行動実行委員会・全国市民アクションが国会行動

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO!全国市民アクションは2月19日、衆議院第二議員会館前を中心にした会場で「憲法審査会強行やめろ！改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！敵基地攻撃能力保有反対！防衛予算拡大するな！いのちと暮らしと営業を守れ！2・19国会議員会館前行動」を取り組みました。行動には500人が参加しました。

行動では、菱山南帆子さんの主催者あいさつに続き、柚木道義立憲民主党衆院議員、山下芳生日本共産党副委員長・参院議員がスピーチ、福島みずほ社民党党首、伊波洋一沖縄の風幹事長からのメッセージが紹介されました。

市民の訴えでは青年プロジェクトチームの高木陽介さんが、新宿駅で取り組んだ憲法改悪を許さない全国署名行動の「ユースアクション」の活動を報告、八王子行動について森喜彦さんが発言しました。【巻末に2人の発言の概要を紹介】

行動提起は木下興さん、司会は北村智之さんでした。（下の写真は及川昇さん）



## 岩手 学習集会に120人、目標10万人を提起 アクション岩手の会

**9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会**は2月20日、盛岡市内で学習集会を開催しました。この集会は「憲法改悪を許さない全国署名」の本格的な取り組みを推進するためのもので、Youtube配信の視聴とあわせ120人が参加しました。

集会では清水雅彦日体大教授（憲法学・九条の会世話人）がオンラインで講演しました。コロナ禍を理由に緊急事態条項を加える改憲を自民党がねらっていることについて、コロナ感染の急速な拡大は憲法の条文のせいでもなく、長年の自民党政権が新自由主義に基づいて、医療や公衆衛生を切り捨ててきたからに他ならず、「ふざけている」と批判しました。また岸田首相が権力維持のために、安倍元首相に同調するばかりか、「敵基地攻撃能力」の保有の検討を表明するなど危険な姿を示していることを指摘。参院選までに改憲発議をさせず、労働組合と市民と野党の共闘を発展させ、参院選で改憲勢力を少数に追い込もうと強調しました。

活動方針を提起した吉田敏恵岩手県生協連専務理事は、全国署名の目標を10万人とし、参院選直前の6月までをやマ場として取り組もうと訴えました。

## 栃木 改憲阻止、戦争法廃止へ 市民と野党の宣伝 宇都宮市

**戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネットワーク**は2月19日、宇都宮市の二荒山神社前で、憲法改悪阻止、戦争法廃止の声をあげようと呼びかけました。

行動では同ネットワークの太田うるおう共同代表・弁護士が、「コロナ禍で国民が苦しんでいるのに政府は大軍拡政治を進めている。軍事に軍事で対抗するのは国民を戦争に巻き込む道」と批判しました。保坂栄次立憲民主党宇都宮市議、野村せつ子日本共産党栃木県議、天谷みえ子日本共産党宇都宮市議も行動に参加しスピーチをしました。

## 東京 「全国署名」スタート集会で講演と活動交流 三多摩アクション

**9条改憲NO!三多摩市民アクション**は2月15日、「憲法改悪を許さない 新・憲法署名スタート集会」を開催、憲法改悪を許さない全国署名の取り組みをひろげようと呼びかけあいました。

集会では、稲正樹国際基督教大学元教授が講演しました。コロナ禍、中国やロシアなどによる不安定な国際情勢に乗じた改憲の動きが国会内外で急速に進められていることを指摘、「改憲勢力の結集」の根を断つためにも参院選が「天王山」になると強調しました。

各地の活動交流や決意を語り合いました。府中の代表は、3000万人署名の取り組みが安倍改憲を阻止したことに確信をもって、草の根の対話で署名を集めると決意、羽村市や小金井市の代表からは、「国際問題が対話で話題になる。学習の積み上げが大事になっている」と発言しました。

## 長野 月4回、丸7年続けるの駅前宣伝行動 上田市

**ピースアクションうえだ**は2月19日、上田駅前スタンディング宣伝を実施しました。行動には9人が参加し、「戦争させない」「憲法9条壊すな」「敵基地攻撃能力保持は憲法違反」などのプラカードを掲げてアピールしました。

同会は、丸7年にわたり、毎月3日、9日、19日、28日の行動を続けています。

## 富山 共同で駅前スタンディング宣伝 富山駅前

**「戦争する国」づくりに反対する富山県実行委員会**は2月18日、25人が参加して富山駅前広場でスタンディングアピールを行いました。参加者は「アベ・スガ政治の継続はゴメン 平和憲法を活かす政治を」「『敵基地攻撃』は先制攻撃 軍拡はやめよ」などの横断幕やのぼりを掲げ、スピーチし、訴えました。

同実行委員会は、平和運動センター、安保破棄富山県実行委員会、自由法曹団などで構成されています。

## 愛知 安保法制違憲訴訟の会が学習会

訴訟の会あいち

安保法制違憲訴訟の会あいちは2月14日、名古屋市中区で学習会を開催、20人が参加しました。

学習会では弁護団の青木有加弁護士が「安保法制成立後拡大する自衛隊の訓練の実態」をリモートで講演しました。安保法制施行後自衛隊の訓練が銃撃戦、上陸作戦、緊急治療など実践的なものになっていること、日米共同訓練の増大、米軍とオーストラリアとの共同訓練が21年には22回実施されたことなどを指摘しました。その上で軍事的緊張ではなく、他国との平和の関係を構築することが大事、と強調しました。

元裁判官で同会共同代表の下澤悦夫さんは、「17の判決には失望したが、問題を広く考えて行くよう若い人たちも巻き込み、たたかい続けよう」と呼びかけました。

違憲訴訟は全国22地域で25の訴訟が争われています。17の一審判決ではいずれも原告側が敗訴。愛知の訴訟は、2018年8月名古屋地裁に提訴、今年4月22日の口頭弁論では3人の証人尋問が行われます。

## 岐阜 50人で宣伝署名行動、シール投票も

岐阜市

憲法改悪を許さない岐阜総がかり行動は2月19日、名鉄岐阜駅前前で宣伝・署名行動を実施し、「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけました。

行動には50人が参加、岐阜総がかりの構成団体であるもうだまっとれんアクション、戦争をさせない1000人委員会、憲法9条を守る共同センター、自由法曹団の代表がスピーチしました。また行動に参加した新日本婦人の会の人たちが9条改憲の賛否をシール投票票で問いかけてました。

## 岡山 憲法を守り生かし平和外交今こそ！

高梁9条の会

高梁9条の会（岡山県高梁市）は2月21日の夕刻、JR備中高梁駅・図書館前で宣伝・署名行動を取り組みました。この日の行動には4人が参加し、「岸田改憲ストップ・9条を守り生かして今こそ平和外交を」とチラシを配布し、対話を進め、「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけました。

通算181回目となったこの日の行動では、対話した高校生2人が納得して署名する場面もあり、この2人分を含め20人から署名が寄せられました。これで同会の憲法署名の通算到達は1万3233人分となりました。

## 2・19国会行動での市民のスピーチから

### 【高木陽介さん〔総がかり行動実行委員会青年PT〕のスピーチ（大要）】

今集会に結集された仲間の皆さん大変お疲れ様です。総がかり青年PTの高木です。出身は東京清掃労組です。私からは、この間の青年での取り組みや今日この場に結集された仲間の皆さんと共に闘っていく決意を話したいと思います。

私たち青年PTは昨年結成しました。なぜ結成したかと言うと、総がかりは日本の労働運動や政治運動の垣根を越えた多くの仲間との繋がる運動です。このような運動は他には存在しておらず、絶対にこの運動を絶やしてはいけません。そんな中、この総がかりでは高齢化や担い手の問題が叫ばれており、運動を引き継いでいくためにも、次世代が主体的に取り組んでいくことが必要です。そこで、青年同士の横のつながりから垣根を超えた集まりを作り、総がかりについて話し合うことで、一人ひとりが主体的に青年PTを立ち上げるのだと意思統一が図られ、結成をすることになりました。

青年の取り組みでは、昨年10月の衆院選に向けて新宿駅前で行ないました。内容は若い世代の投票率が下がっている現状の中で、選挙に行くことの必要性を強く訴えてきました。当日は60名を超す仲間が結集し、同じ世代だからこそ感じている現在の社会情勢への不安や不満・矛盾を訴え、共有することで大衆運動に繋げるために取り組んできました。衆院選での野党共闘について議員・メディア・労組など様々な人が意見を上げていますが、連帯し取り組んだところでは結果に繋がっています。また残念ながら当選で

きなかった候補者においても得票を伸ばすことができました。この結果は、我々の共闘の力を発揮したときの威力を内外に高く示せたのではないのでしょうか。

また昨日（2月18日）、「憲法改悪を許さない全国署名街宣行動」を行ないました。青年たちの中には署名行動に取り組んだこともない仲間もいることから、前段で署名の練習を行ないました。練習では、どうやれば多くの署名をもらうことができるのか、またクレームを受けた時の対応方法などを学びました。一筆でも多くの署名をもらえるよう、しっかりと楽しみながら練習してきました。

本番当日55名の仲間が結集しましたが、残念ながらコロナに罹患し泣く泣く参加できない仲間もいました。私たちはその仲間の思いを継ぎ、一生懸命取り組む中で、短い時間でしたが、なんとか40筆もの署名をもらうことが出来ました。また今回署名を書きくださった方達からは、「がんばってね」「応援しているよ」「今の自公政権はおかしいよね」などといった声が上がっていました。やはり今の政権、また改憲に向けた動きが強まっていることへの警戒感、不安や不満を抱いている人が多くいるのだと改めて再認識しました。

最後になりますが、私たち青年PTは引き続き皆さんと連帯し、全力で取り組んでいきます。私たちの青年の合言葉は「Old Style・New Wave」。ここにいる皆さんが牽引してきた日本の労働運動の大切な軸をしっかりと継承し、その中で私たち青年らしい、青年だからこそできる運動の構築を全力で目指していきます。

誰もが安心して・生活し、平和に暮らせる社会を作るためにも皆さん、共に全力で頑張りましょう。

## 【森 喜彦さん〔NO WAR！八王子アクション〕のスピーチ（大要）】

集会に結集された仲間の皆さん、大変お疲れ様です。連日の活動に敬意を表します。只今ご紹介いただきました、八王子市民アクションです。八王子市民アクションは集会の名前なのですが、参加者を代表して私、森喜彦より、八王子市民の活動を報告させていただきます。

八王子アクションは「戦争をさせない八王子市民集会実行委員会」が主催する集会です。2015年の安保法制（戦争法）に反対する運動から誕生し、6年以上継続して活動をしています。毎月1回、19日行動に連帯してその直前の土日を基本に八王子駅前で開催しておりまして、日程がかぶる今日のような場合は、午前中に前段集会として実施してから国会前に向かいます。今日も第79回目となる集会を実施してきました。毎回、八王子の市民だけでなく、政党や世代、地域を超えて、多くの市民が参加してくれます。本日の集会参加者数は130名でした。

集会には私のような地方議員、時には国会議員も参加していますが、主役は市民や有志団体です。実行委員会の打ち合わせでは、今起こっている問題や、連帯して取り組みたいことなどを話し合い、みんなで集会を作っています。今、手元には集会のチラシがありますが、内容やデザインも含めてみんなで話し合い、集会で募ったカンパをもとに1万4000枚印刷し、ポスティングも行っています。

今、国内外でどのような問題が起きているのか、問題点を共有し、戦争をする国づくりを許さないために、声をあげていくことは一人の市民として当たり前のことなんだという事を目に見える形で街中に訴えていく事が大事だと思っています。最近インターネットやSNSが普遍化し、情報発信は容易になりましたが、興味をもって検索してくれる人には届きやすい一方、そうでない人たちからは逆に見えにくくなってしまっているのではないのでしょうか。

街を歩けば見える、当たり前のようにそばにある、今起きている問題をもっと多くの市民に知って参加してもらえるよう、これからも取り組みを積み重ねていきたいと思っています。そうした中、新型コロナウイルスの感染予防で、リアルな接触が避けられるようになったことは私たちの運動にとって深刻な課題となっています。集会でシュプレヒコールができなくても、サイレントデモ、スタンディングデモの形でアピールを取り組んだり、自宅でもできる運動をとということで、八王子の若者有志がSNS講座を企画しました。ガラケーが製造中止になって、スマートホンになってしまったけど、イマイチ使い切れてな

いという方を対象に、Twitter や Facebook のアカウントの作り方や投稿のやりかた、Twitter デモのやり方を解説することで、集会の様子を更にアピールできるようになりました。

コロナ禍以前は、運動の先輩から戸別訪問で署名をもらうやり方を教わっていましたが、それぞれの世代の経験や強みを相互に伝えあって、創意工夫を凝らして活動しております。

先ほど、総がかり行動青年 PT の高木君から「Old style New Wave」という合言葉が紹介されました。SNS 講座を企画した八王子の若者有志チームでは、八王子の戦争遺跡を巡るフィールドワークを企画したり、高尾山麓の乱開発を防ぐための署名活動、立川市の砂川闘争の現地学習会なども取り組んできましたが、現地で長らく活動をしてこられた方のご協力があって実現したものです。活動が長く運動に携わってきた方の知識や想い、ノウハウを継承し、皆でより時代に合った形へと進化させていけるよう、八王子アクションの取り組みも、一人でも多くの市民に届き、この国会前に結集ができるようこれからも頑張っまいります。皆さん、共に頑張りましょう。